



# 不屈

東京都本部  
「不屈」No.602  
付録  
東京版No.503

## 治安維持法犠牲者 国家賠償要求同盟

〒113-0034  
東京都文京区湯島2-7-8  
労音お茶の水ビル1F  
電話03(6240)0283  
FAX 03(6240)0284  
振替 00100-5-99628

7月27日(土)に治安維持法国家賠償要求同盟東京都本部第47回大会が文京シビックセンターのシルバーホールで開かれました。東京全域から41人が参加し、午前中は佐々木憲昭氏(元日本共産党衆議院議員)による記念講演「岸田大軍拡と経済秘密保護法について」で学習し、午後は1年間のまとめと今年度活動方針を議論し、情勢の共有と組織強化の必要性を深めることができました。

### 第47回東京本部大会あいさつ

## 「国賠同盟の力を発揮すべき時代」次につなぐ

会長 吉田 万三

昨日、ブラジルの大統領が戦争中の日系人強制収容所について謝罪した、というニュースがありました。アメリカでは、オバマ時代に同様に謝罪しています。世界では、すでに多くの国々が戦前の過ちを謝罪し、名誉回復をしているのです。

ところが日本では、治安維持法の犠牲者に謝るところか、実態も調査しない、当時の法律だから「個人の思想信条を取り締まるのは当然だ」という特殊な国になっています。

一方で着々と「戦争する国づくりへの法整備」が行われ、新たな戦前と言われるまでになっています。ここに国賠同盟の大きな役割があります。即ち「国は過去の過ちの反省を」「二度と暗黒政治を許さない」という歴史の本質に迫る運動です。

世界を見ると、NATOや日米安保の様な軍事同盟は少数になっています。ASEANに象徴されるように「非核・非同盟・自主独立」の国々が多数であり、「紛争を戦争にしない」努力が戦後一貫

して進められてきています。日本の姿勢が問われています。都知事選が終わって、いまだに「連舫バッシング」が続いています。これはいかに支配勢力にとつて「市民と野党の共闘が恐ろしいか」の証明です。さらに言えば「アメリカ言いなり・財界本位の政治」を鋭く追及する「日本共産党」を切り離したいのが見えてきます。

「敦賀原発2号機ストップ」の今日のニュースにあるように原発依存から再生可能エネルギーにカジを切る、国民本位の政治、平和を守る国にあらゆる市民団体・市民と力を合わせましょう。

最期に同盟建設について、①「世代継承」が大事です。民青のあいさつにもありましたが、青年は新自由主義・資本主義の矛盾を肌で感じている。未来をどう生きるかを模索している。年寄りには、頑張ってもあと10、20年、世代継承に力を入れましょう。②「治安維持法犠牲者がいなくなったらどうするか」「名称」は今後検討すべき課題です。

- ふたたび戦争と暗黒政治を許さないために
- 一、治安維持法体制の復活に反対する。
- 二、国は、戦前の治安維持法が人道に反する悪法であると認めること。
- 三、国は、治安維持法の犠牲者に謝罪と賠償を行うこと。

# 都本部大会決定をふまえ、国会請願署名、会員拡大、学習活動に旺盛に取り組みましょう

7月27日の第47回都本部大会には41人が参加。吉田会長の開会挨拶に続き、救済会、民青、レッドパージ協議会から連帯の挨拶を頂き、事務局長の活動と方針の提起を受け、10人が発言。全議案を全会一致で採択しました。日本共産党からは午前中の記念講演「岸田軍拡と経済安保法」(佐々木憲昭氏、詳細は次号掲載予定)、開会時に曾根都議から「国賠同盟北支部結成に力をつくす」と力強い言葉を頂きました。今号には事務局長報告とメッセージ、役員一覧を掲載します。

## 23年度活動報告と24年度方針

1. 情勢は、佐々木憲昭さんの講演と、来賓の皆さんが語られました。自民党の戦争する国への暴走、アメリカ軍指揮下の戦争体制がすみ、国会行動、理事会前の街頭宣伝で横断幕、幟、ゼッケンをつけて訴えました。また、ロシア、イスラエルの侵略戦争への抗議、即時停戦、ガザ・ウクライナ支援募金にも取り組んできました。今年1月の能登半島地震の支援募金にも取り組みました。

「岸田自民党の大軍拡に抗議、都議選、衆議院選挙勝利めざす」特別決議を大会名で決議したいと思えます。2. 都本部は昨年の第46回大会で決めた、3年後の50周年までに東京全域の支部づくりと都同盟15000人達成に向けて、取り組んできました。支部建設では、目標の5支部には届きませんでした。台東区、渋谷区で準備会が進められています。支

部活動前進のため「支部活動の手引き」を作成。いくつかの支部や他府県でも活用されています。また、21支部中10支部が顕彰会、学習会などに取り組み、会員増10支部、会員減2支部で、前大会比48人増で1,391人に到達しました。

都本部活動の教訓は、支部結成による会員拡大と、赤旗折込などで学習会、映画上映会を広く呼びかけ、会員外の人に参加してもらい、入会を訴え、会員が増えています。大田支部は24人、中央と港支部ではそれぞれ4人増です。

同盟の役割がますます重要な情勢のもと、次期大会までに1,400人達成のため、4月1日現勢調査で後退した支部はもちろん、あらゆる取り組みの中で同盟員拡大を結びつけ、独自の訴えを強めましょう。

3. 都知事選・都議補選は、吉田会長と中嶋事務局長が連舫事務所を訪問、中央本部大会での支援決議を渡し

し激励し、募金は「革新都政をつくる会」に届けました。都議補選は市民と野党の共同候補に「檄」を届け、闘いました。都知事選は小池都知事の「狸寝入り」で、都政問題の争点をそらし、東京都の問題は解決されていません。その中で、蓮舫さんは120万票。これまでの知事選と比べても市民と野党の共闘での成果が確実に発揮され前進しています。本気の市民と野党の共闘が実現すれば勝利できる展望を開きました。来年の都議選で勝利し、参院選、衆院選での前進を勝ち取るため全力をあげましょう。

4. 国会請願行動は、5月15日に治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟として実施しました。全国から150人、東京から24人が参加しました。このうち初参加が9人でした。北海道から菱谷良一さん(102歳)も参加されました。

東京は、9,500筆の署名で25議員事務所を訪問、署名6500筆を届けました。この訪問で、12人が紹介議員を承諾しました。7月現在、紹介議員は15人になりました。

23年から145団体に署名の要請を郵送しました。20団体訪問。「不屈」11月号、2月号、4月号に署名用紙を返信封筒付きで折り込みました。返送署名は個人78人682筆。52団

体1,884筆の合計2,556筆と多くの署名が寄せられ、個人署名は大きく前進しました。

今年度は、大会後直ちに団体訪問し出足早く、署名に取り組みましょう。目標は3万筆です。

5. 映画「わが青春つきるとも」第三次上映運動は、世田谷支部2回7人、港支部2回実施されています。今後、板橋、八王子、練馬支部、渋谷支部準備会が予定しています。支部、空白地域で推進します。

6. 顕彰運動では、毎年定期的に顕彰しているのは5支部6人です。都本部は、多喜二祭・亀戸事件・東京山真会などに参加しています。

7. 治安維持法施行100年を位置付けたとりくみをします。学習活動は同盟活動にとつて原動力です。この一年間、様々な形で「戦争と平和」「国際人権」「顕彰活動」などのテーマで学習活動に取り組んできました。

また各支部では、映画「武器なき斗い」「種まく人びと」「鶴彬」など

三役会議  
8月8日(木) 13時半  
会場 文京区男女平等センター  
理事会  
8月26日(月) 13時半  
会場 文京区男女平等センター

治安維持法同盟第47回  
都本部大会へのメッセージ

治安維持法同盟 第47回  
都本部大会にご参加の皆様には、  
心からの敬意と、連帯のご挨拶  
を申し上げます。



世界ではいま、戦前・戦中の  
政治的自由や人権、人道、侵略  
行為に対する弾圧犠牲者への謝  
罪と賠償が進んでいます。しか  
し日本では、治安維持法が人道  
に反する悪法であったとすら

どの上映に取り組んできました。  
第41回全国大会で学習テキスト  
『治安維持法とは何か』ができた  
た。戦争する国への法体系が国民世  
論、国会を軽視し強行採決されてい  
ます。この自民党政治に決別し、憲  
法の不戦の誓いに基づく政府を実現  
めざし、このテキストで全会員の学  
習を呼びかけます。  
7. 25年度は治安維持法公布100  
年となり、下記の記念事業を検討し  
ています。支部でも「治安維持法犠  
牲者がいなくなる時代」に運動を継  
承し発展させていくか議論を深めま

- （1）記念集会(案)  
規模 文京区シビック小ホール 350席
- （2）13時30分から16時30分(3時間)  
講演 菱谷良一さんを語る  
講師 川嶋均東京芸大講師  
菱谷さんビデオメッセージ  
講師 (「多喜二の母」上演者)  
による上演
- （3）2025年4月に予定  
\* 2025年4月に予定
- （4）100年映画上映  
文京区民会館で「武器なき斗い」
- （5）女性部としても100年の取

認めず、その犠牲者に謝罪し、  
賠償を行うことをかたくなに拒  
否し、実態調査すらまともに行っ  
ていません。世界からみても異  
常な姿であり、許すわけにはい  
きません。  
その上通常国会では、民間企  
業を軍事に動員するための経済  
版秘密保護法、自衛隊と米軍の  
一体化を進める防衛省設置法改  
定、次期戦闘機の開発・輸出に  
向けた国際機関設立条約、食料  
安全保障を前面に押し出す食料・  
農業・農村基本法改定、有事に  
国の自治体への指示権を拡充す  
る地方自治法改定など、戦争国  
家づくりの法案が次々と押し進  
められています。  
アメリカと中国との対立をおお

り、力で押さえつけようと軍備  
拡張に走る。こうした道はいつ  
か来た道 戦争への道です。絶  
対に許してはなりません。  
過去の戦争責任に向き合わず、  
まともな外交努力も行おうとし  
ない自民党政治は、もう終わり  
にしましょう。日本国内だけで  
なく、アジア諸国への戦争責任  
についても真摯に反省・賠償し、  
本当の友好関係を築く、まとも  
な政治こそ必要。  
私もみなさんとともに、がん  
ばる決意を申し上げます。  
2024年7月27日  
日本共産党参議院議員  
吉良よし子

第47回都本部大会へ  
寄せられたメッセージ

- 東京地方労働組合評議会  
議長 矢吹義則
- 東京日仏体育労働組合協議連合  
中央執行委員長 矢吹義則
- MILU 東京地方本部  
執行委員長 鈴木透
- 治安維持法同盟関東本部  
会長 加藤ユリ
- 東京母親大会連絡会  
委員長 木原 秀子
- 東京民主医療機関連合会  
会長 根岸 京田
- 日本共産党参議院議員  
箕井 亮
- 日本共産党参議院議員  
宮本 徹
- 小池 晃
- 吉良よし子
- 山添 拓

第47回都本部大会で  
選出された役員

- 会長 豊島 安藤 郁子
- 副会長 吉田 万三 練馬 矢沢 重光
- 清水 邦治 江東 猪又 武夫
- 阿部 俊雄 中央 ( )
- 風間 秀子 台東 龍野 紀義
- 中村 茂樹 板橋 永田 佳
- 濱谷 正文 板橋 ( )
- 北 宇都宮 章
- 事務局長 中嶋 育雄 足立 高橋 陽子
- 事務局次長 井藤 英治 江戸川 横山 一行
- 石嶋 晴美 東村山 高橋 博
- 矢野 利直 八王子 本條 洋子
- 青年 ( )
- 理事 目黒 菊池 誠一 会計監査
- 目黒 森 美彦 柿沢 繁
- 港 小河原 洋子 中丸 ミユキ
- 大田 色部 祐 顧問 山崎 元
- 大田 酒井 利男 四津谷 伸子
- 世田谷 菅野 亨一 藤本 増美
- 世田谷 山田 純江 東 巨剛
- 世田谷 内野 明和 \* 太字は新任



今回の地方自治法改正案は、国と地方自治体の関係を根底から覆すもの

能登はやさしや土までも

神様を壊す夜

足立支部 濱谷 正支

7月15日深夜1時5分から、NNNDキュメント「神様を壊す夜」能登半島地震から半年」が放映された。

7月5〜7日未明にかけて催された故郷、能登町宇出津(うしつ)の「あばれ祭り」。「ほんとに、神も仏もないがいね」と、意見が2分したまちで「なぜ開催できたのか?」。祭礼実行委員会は祭礼参加を強要せず、

各町会の判断にゆだねた。町会での協議の様子や住民の声、祭礼委員の苦悩を追いながら、祭りを通して地域再生をとげようとする町民の願いがレポートされていた。



「あばれ祭り」には、毎年参加し、幼児のころはキリコに乗り、少年のころは大鼓をたたき、小学校中学年からは子どもキリコを、中学生からはキリコを担いだ。高校からは下宿生活だったので、当時7月7〜8日に催されていた祭りには、休みが重なったときには参加した。その後は、息子が小学校に入る前に家族と一緒に見た。もう40年近くも前になる。今年36町内会のうち30本のキ

リコがでたという。キリコが通る道路と周辺の瓦礫が片づけられ、急遽、整備された様子が路地からの映像で窺えた。一日日、のと里山海道が輪島まで双方向で通行できるようになったと報じられた。6月に水道が復旧したばかりの従兄の家はもちろん、多くはブルーシートがかかったままで梅雨をしのいだ。ようやく熊本や四国の業者がはいったが、順番まちで、自宅の改修には、まだまだ時間がかかることだった。

今日妹から、義弟が支援した七尾市の老舗醤油店が再建できたとお中元に「出汁醤油」が届いた。私は能登の親族には定番の東北のリンゴジュース、石川県外の親族や友人には、営業を再開したばかりの七尾市の「能登もん」を送ることにした。

人も物も、予算も足りず、復旧が遅れている。「21世紀消滅可能性自治体」に入る能登半島のまちをこの機に、裏金づくりの犯罪者集団の政府は見捨てようと思おうのは、うがった見方だろうか? (7・20記)

ら削除することを求めました。問題とされた発言は、「これまで、自民・公明政権によって、日本国憲法に反する数々の悪法が成立させられてきました」が、

「す」の一文です。自民党・公明党はこれについて「不穏当」「事実誤認」「秩序を乱す」などと主張し、議事録からの削除を求めてきました。私は削除の求めに応じず、また議長は、議員の発言の自由を尊重する立場から議長権限での削除はしない旨の判断をしていました。自民党・公明党はこれに対し、不服である旨を述べ、議事録からの削除を何度も迫りました。

そして7月10日副議長(公明党)

が、欠席している議長に代わり、職権で議事録から削除したことを報告しました。議長裁定を覆し、副議長が職権での削除を決定するという事態が発生しました。

「議員の発言権」という民主主義を成り立たせる上で、極めて重要な権利を侵害したことは許されません。議事録の回復、中野区議会の正常化を求め、多くの方と力を合わせていく決意です。

川柳

植竹団扇 選

国会無視自衛隊にも伝染し

新宿区 阿部 俊雄

トリクルダウンボトムアップへ転回

豊島区 藤本 増美

を

都議選で小池狸に倍返し

中野区 中嶋 育雄

終戦の玉音放送母と聞く

足立区 高橋 陽子

盆休みリング嬢に遠い日よ

八王子 清水 邦治

日本は自公政治でひとり負け

練馬区 中村 茂樹

諦めず緑のタヌキ追撃を

調布市 稲邑 明也

娘さん真似てお臍を出してみる

団扇



【読者のみなさんの投稿歓迎】